

南太秦だより

平成30年度後期学校評価結果

平成30年度後期学校評価結果 臨時号

京都市立南太秦小学校

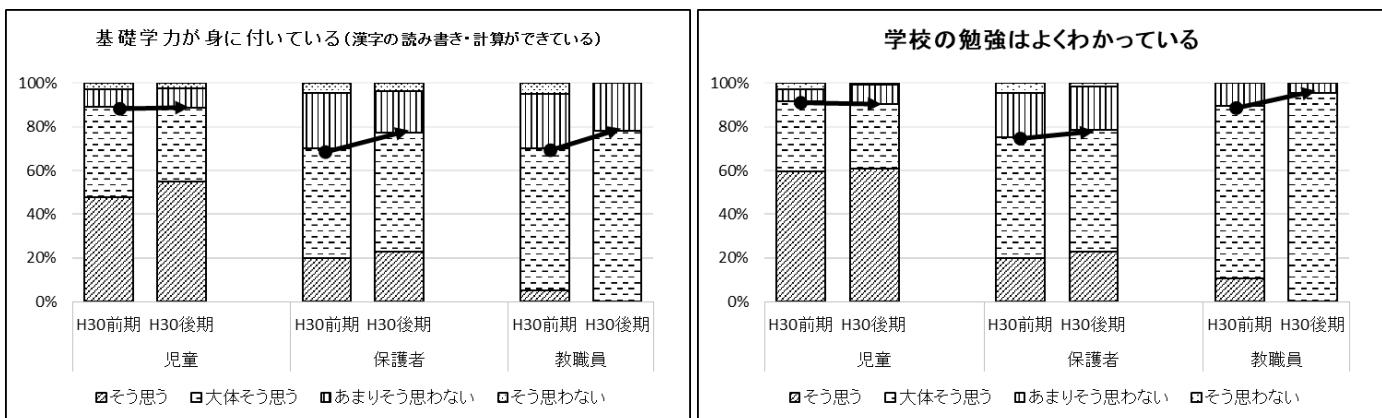
校長 二宮 靖男

「南太秦小学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。児童、保護者、教職員の前期と後期の結果比較を行い、気づいた点や気になる点などをまとめています。

【アンケート回答率】児童：99% 保護者：91% 教職員：100%

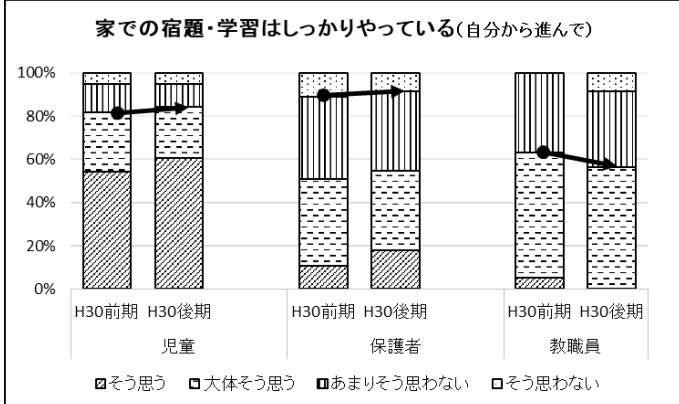
確かな学力

学ぶ意欲があり、進んで学習する子

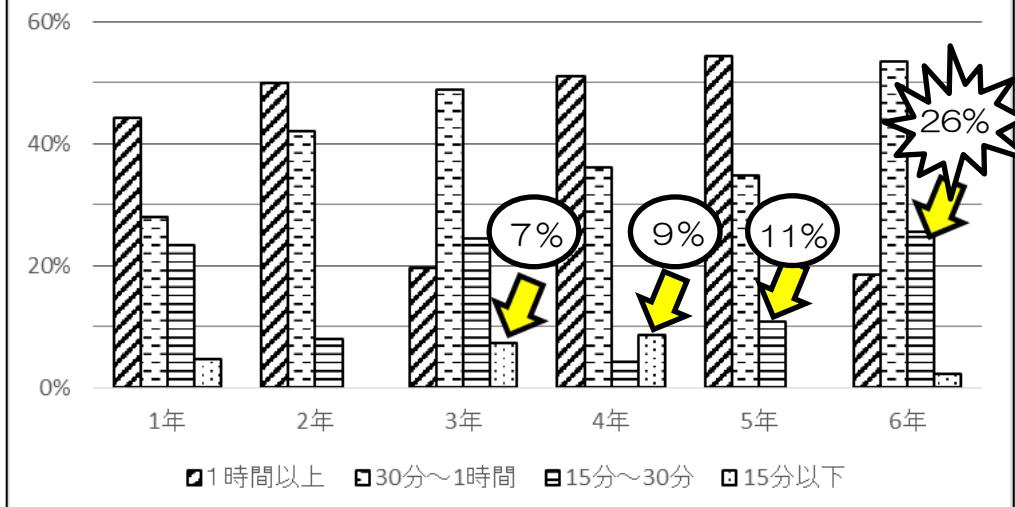


『基礎学力が身に付いている(漢字の読み書き・計算ができる)』『家の宿題・学習はしっかりとやっている(自分から進んで)』の3つの項目において、児童・保護者で改善が見られました。

学校の勉強はよくわかっている



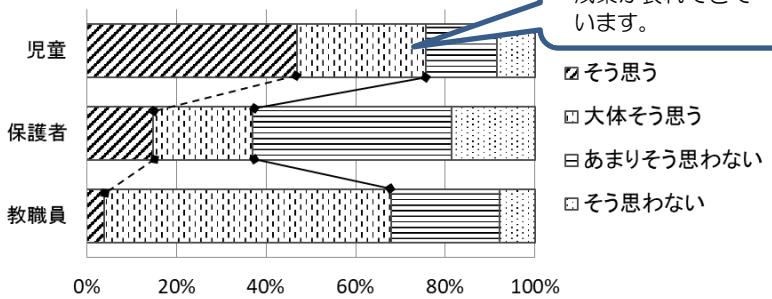
家庭学習の時間(宿題・自主学習を含む)



中学年で『15分以下』の児童が数パーセント・『15分～30分』の児童が5年生で10パーセント、6年生で25パーセント程度いました。家庭学習の時間に課題が見られました。

【学年×15分】を毎日の学習時間のめやすとして取り組んでみましょう

読書の習慣が身についている



「そう思う」「大体そう思う」の評価が児童、保護者、教職員で三者三様でした。特に児童と保護者の評価の差が大きく、児童と教職員では、「そう思う」「大体そう思う」の合計の差は少ないものの、「そう思う」の差が一番大きくなっています。

【考 察】

子どもの家庭学習に少し目を向けてみてください。

前期評価で3者ともに評価が下がっていた「基礎学力の定着」ですが、若干回復傾向が見られました。しかし、児童評価で、「あまりそう思わない」「思わない」の割合に変化がないことが気になります。同じ児童が回答しているかは判断できませんが、**常に一定数の児童が「読み」「書き」「計算」に不安を感じているということを意識して学習指導していきたいと思います。**自由記述の中にも、「算数の授業内容を理解できないまま進むので、もっと復習してほしい。」というご意見がありました。前期の考察でもお伝えしていますが、授業時数の増加等で定着を図るための十分な時間確保が難しいのが現状です。来年度以降、学校行事等の見直しを含めて基礎学力向上に向けての取組を検討中であることをご理解ください。

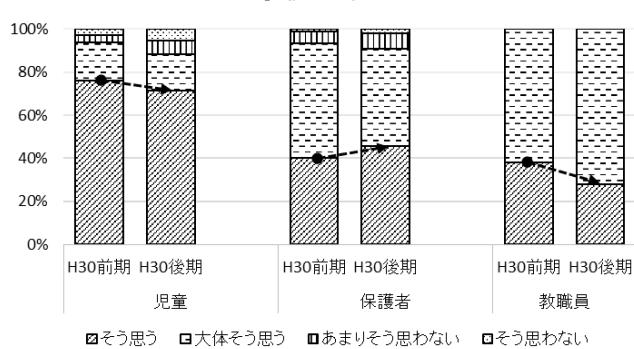
今年度より児童アンケートで、「家庭学習の時間（宿題・自主学習）」の項目を設けています。4月の全国学力学習状況調査の児童質問紙の結果からも学校外での学習時間が短い傾向が明らかになりましたが、**6年生で「15分～30分」の割合が「1時間以上」の割合を上回っている、中学年で「15分以下」の割合が低学年と比較して増えている**など、学校全体としても家庭学習の時間に課題が見られました。学校では、**学年×10分～15分を家庭学習のめやす**として考えています。学年が上がるにつれて子どもの宿題を見る機会が減るかと思いますが、小学校在学中は子どもの意識付け・習慣づけのために時間が許す限り子どもの宿題を見ていただき、一緒に問題を解いてみたり、自主学習のテーマを考えたりしてください。



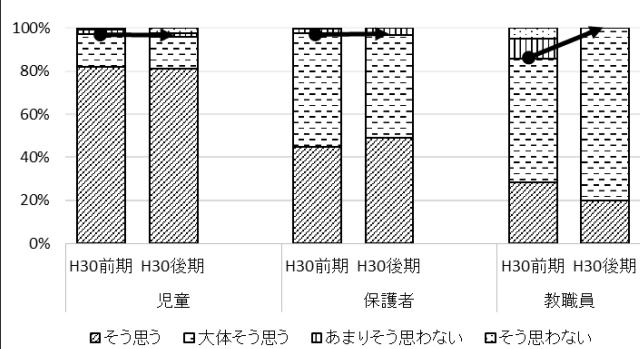
豊かな心

他者を思いやる心をもち、人やものを大切にする子

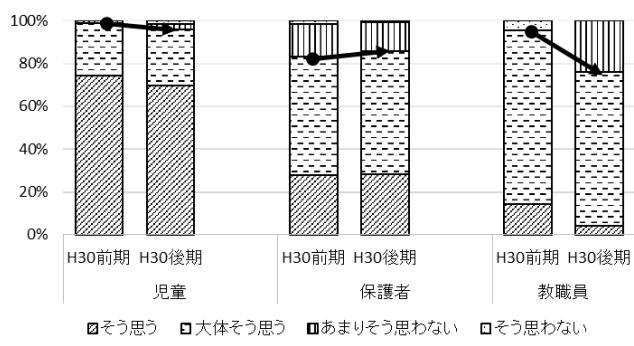
学校は楽しい



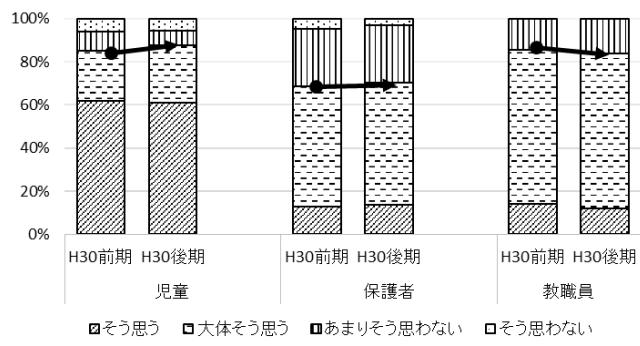
仲間はずれにせず、仲良く遊んでいる

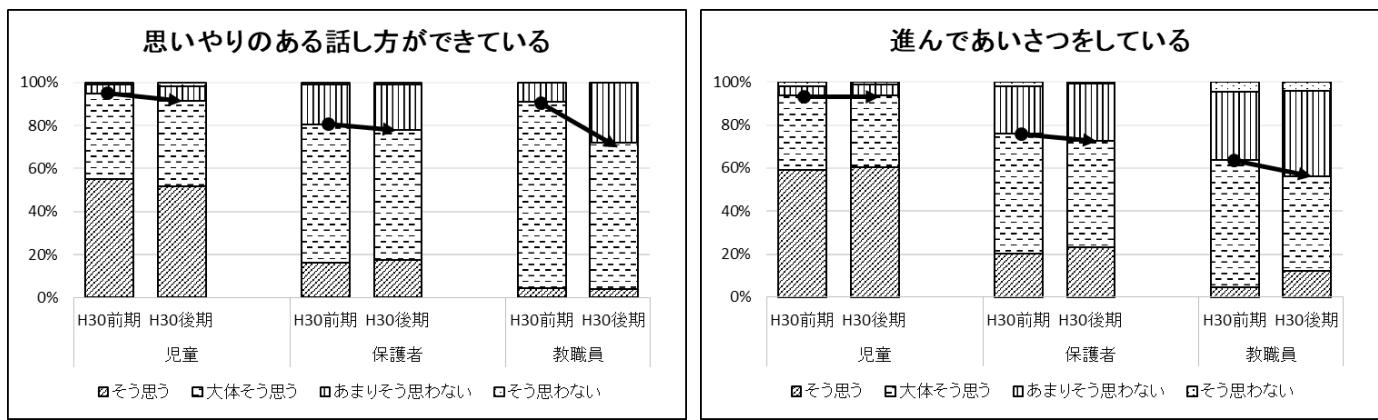


きまりや約束を守っている



困った時に教職員に相談している





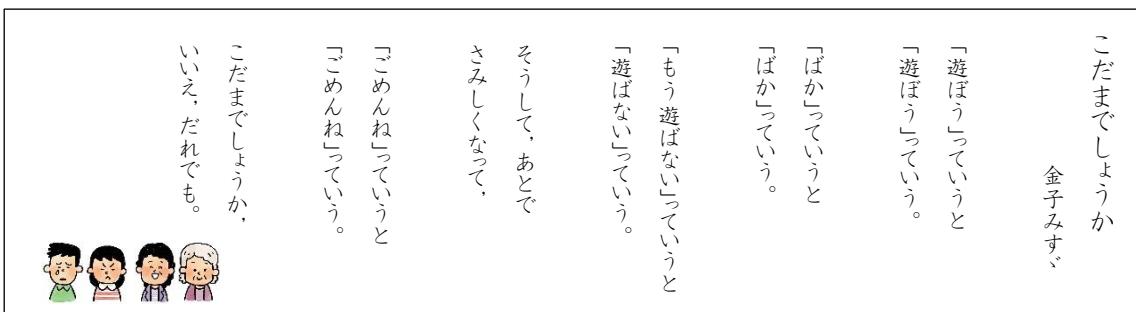
『思いやりのある話し方ができる』『進んであいさつをしている』が三者ともに評価が低くなっています。

【考 察】 まずは大人が子どもたちの見本として

「思いやりのある話し方ができる」「進んであいさつしている」の項目で三者ともに評価が下がっています。これが気になります。

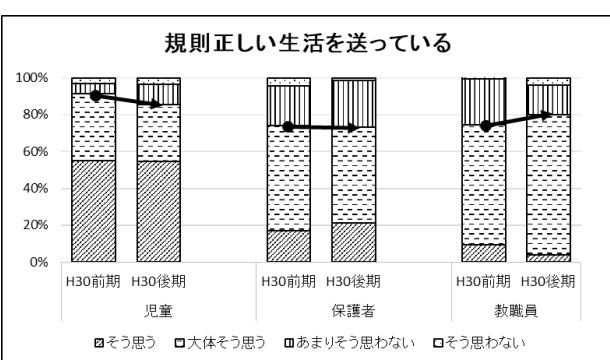
「進んであいさつしている」の項目は、前期評価で上昇傾向があっただけに残念です。これから時代が進みAIやロボットが高度化すればするほど、「人間らしさ」や「人ととのコミュニケーション力」が重要となってきます。特に「挨拶」は、いつの時代に置いても社会のマナーの基本であり、人と人をつなぐ第一歩です。しかし、先月の学校運営協議会で理事の方から「**来校時に教職員からの挨拶がない。**」というご指摘を受けました。もしかするとこうした大人の姿が子どもたちに伝わっていたのかも知れません。再度、我々の挨拶を見直し、教職員が子どもたちの見本となるような「気持ちの良い挨拶」をしていきますので、引き続きご家庭でも挨拶の大切さについて話していただければと思います。

「思いやりのある話し方ができる」の項目について、「口が悪いです。」「？」で終わる言葉がけができずケンカになることが多い（2年生）「ゲームの時間が多くて困っている。ゲーム内での言葉遣いが乱暴」（6年生）など、言葉遣いを心配する自由記述がありました。学校でも遊びの中で、子どもたちの中で人気のある格闘ゲームやサバイバルシューティングゲームをしている時の言葉が出てるように感じことがあります。気になる言葉遣いがあった場合はその場で指導するようにしているところです。各ご家庭でも気になる言葉遣いがあった場合は、「その言葉お友達にも使っていない？」「自分が言われた嫌な気持ちにならない？」と声をかけてください。繰り返し学校と家庭で子どもたちに言葉の持つ力や魅力、影響力について伝えていきましょう。また、子どもの言葉の良し悪しは、環境要因が大きいと言われています。身近で子どもと接する私たち大人が丁寧な言葉で子どもたちに話しかけることも大切です。



健やかな体

自分の体を大切にする子



【考 察】 朝の生活リズムを作りましょう

児童の「大体そう思う」の割合が、5%ほど減少しています。アンケート実施時期（冬）が影響していると思われます。

先日の学校保健委員会で、冬休み明けの生活リズム調べの結果をお伝えさせていただきましたが、起床時刻が遅くなることが「朝食」「歯磨き」「洗顔」「排便」に影響していることがよく分かりました。登校までの時刻から、「洗顔」「朝食」「歯磨き」「排便」をするのにどれくらい時間がかかるのか逆算して起床時刻、就寝時刻を見直してみてはどうでしょうか。

自由記述より（一部抜粋）

- ◆ ランドセルや筆箱をたまに見るとシール等のおもちゃが入っていたり、「〇〇ちゃんからもらった」と言って持つて帰っていることがあります。話をすると決まって「みんな持ってきてる」と言うので、それでも持っていくなといは言うのですが、クラスの方でもそのあたりの約束事について、持ち物検査する等をして意識付けしてみてはどうでしょうか？
- ◆ 先生にはどうしても困った時に聞いているようで、友だち同士で考えたり相談したりしているため評価として低めですが、決して悪い意味ではないです。口が悪いです。
- ◆ 学校が楽しく安心して過ごせる場所となるように、日々様々な取組をしていただいることをありがたく思っております。読書については、学校におまかせするのではなく、家でも進んでできる環境をつくっていかなければと思います。
- ◆ 困ったことがあっても職員が忙しそうにしているので、相談できない。
- ◆ 外で遊んで家に帰りつく時間を決めているのですが、毎回遅い。注意しても守らないことが多いです。
- ◆ 図鑑を繰り返し読みますが、物語や伝記など親として読んでほしい本は読まないです。種類を多く読んでもらうにはどういう工夫が良いでしょうか？家には歴史マンガ等あるのですが。

人は誰しも、何かしらの「困り」、心配な「問題」、乗り越えなければならない「課題」を抱えて生きていると思います。子どもたちも同じです。子どもたちのために、時には気付かれないように、時には毅然とした態度で、時にはしっかりと寄り添いながら、知恵を働かせて、必要だと思う支援を以て「学び」や「育ち」を促していくことが「大人」が担うべき役割です。家庭と学校、「大人」としての私たちの関わりが本当に大切です。

学校では、子どもたちが、次代の「大人」として自立して生き抜いていくように、今の「大人」としての役割を果たしていきたいと思います。それぞれのご家庭でも、現況を確かめながら、これまでをふり返っていただければ幸いです。



学校運営協議会理事の皆様より（一部抜粋）

確かな学力について

- ◆ 児童の変化は見られないが、先生の評価が少しでも上がっているのが良いことだと思います。
- ◆ 家庭学習の時間は気になりますが、塾の時間に変わっているか。
- ◆ 子どもたちは「勉強はわかっている」の評価が高いようですが、実際はどうなのか。子どもたちを見ていて学習の理解が厳しいと感じことがあります。
- ◆ 学習時間の短さは、中学校でも同じことが言われているようです。
- ◆ 読書週間についての児童と保護者の評価の差が大きいことを見ると、学校での読書について子どもが家庭で話をしていないのかなと思います。
- ◆ 朝読書でどんな本を読んでいるのか、どんな本が好きかといったことを家庭内で話す雰囲気を作れるといいですね。
- ◆ 自由記述に多くの種類の本を読んでもらう工夫について書かれていますが、好きな種類の本をしっかりと読むことも大事だと思います。興味を持っている本について話を深めていくなどすれば、関連した分野に興味の幅も広がると思います。

豊かな心について

- ◆ 学校が楽しくないと感じている児童がいることが気になります。何が起因しているのかまた聞かせてほしい。
- ◆ 「仲間外れ」はゼロにしてほしいと思います。勉強をするにしても、スポーツをするにしても子どもたちにはやはり仲間を大にける気持ちを持ってほしいです。
- ◆ 作品展で子どもたちの作品を観ると、子どもたちの心のおおらかさが色使い等に表れていました。

健やかな体について

- ◆ 各家庭の生活もいろいろあると思いますが、みんながストレスを貯めないようによく家族で考えることも大事かなと思います。
- ◆ 起床時刻の遅れは、学校から家に帰った時からスタートしていると思います。生活リズムを自分たちでしっかり考える必要があるのではないかでしょうか。

＜アンケートへのご協力・ご意見ありがとうございました。今後の教育活動に生かさせていただきます。＞